

緑丘立さっぽろ

第94号 ■平成25年1月1日
編集 ■緑丘会札幌支部広報委員会
札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55 3F
http://www.ryokyukai.com/
E-mail:ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp
印刷 ■岩橋印刷株式会社



マドンナ
木谷忠夫(昭和37年卒)

平成25年緑丘会札幌支部 新年交礼会のご案内

明けましておめでとうございます



会員各位におかれましては益々ご健闘にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成も四半世紀の25年となり、母校、緑丘会とも更なる伝統歴史を築きたく、会員の求心意を持って「新年交礼会(当番幹事:昭63・平12)」を右記の要領で開催いたします。「オール緑丘」を標榜のもと、ありとあらゆるお誘いにてのご参加をお待ちいたします。季節柄足下に十分お気をつけてご参加ください。

ご案内は本誌、ホームページのほか、年度幹事より会券配布をさせて頂きます。会券の精算方法は<各自受付にて精算>頂きますようご協力をお願いします。

*お席の準備上、ご出席の方は各年度幹事または支部事務局までご連絡ください。

申込み

緑丘会札幌支部 (TEL&FAX 011-231-6900)
MAIL ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp



●とき 平成25年2月11日(月・祝)
臨時総会 午後1時50分より
新年交礼会 午後2時より

●ところ ニューオータニイン札幌2F 鶴の間
(中央区北2条西1丁目 ☎222-1111)

●会費 6,000円(平成11年卒以前の会員)
3,000円(平成12年卒以降の会員)

●講演 「情報発信力の磨き方」
～アイデンティティと主体性の重要性

ほうだ たかあき
講師: 保田 隆明 氏
(小樽商科大学アントレプレナーシップ専攻准教授)

●ご招聘 沼田 久 名誉教授
倉田 稔 名誉教授
高宮城 朝則 先生(商学科)
中村 隆志 先生(社会情報学科)
佐山 公一 先生(社会情報学科)

☆札幌在住のマジシャンやまちゃんによるマジックショーも
お楽しみください。

新年を迎えるにあたり

緑丘会札幌支部
支部長

田 尾 延 幸
(昭和43年卒)



あけましておめでとうございます。健やかに新しい年を迎えられたことと思います。

昨年は母校創立100周年の翌年ということで比較的平穏な一年になると思われましたが、母校で起こった飲酒事故により、学長はじめ大学関係者の皆様にとっては悔いの残る一年であったと推察いたします。

札幌支部は昨年、組織活性化を掲げて、総会、新年交礼会に多くの会員の出席を促すために、ゼミの先生方のご協力によるゼミ卒業生の出席や、各クラブの参加による縦のつながりの会員出席など、いろいろな工夫を凝らしましたが、まだまだ不十分でありました。

昨年6月の年次総会においては、卒業生の4割を超える女性会員の出席を促すために、女子部会の創設を決定し、新副支部長に福井美美子さん(昭和54年卒)を選任いたしました。

さらに、職場単位の緑丘会に支部会合へ出席していただくために、組織規約を改正して、本年2月の新年交礼会にて職場の緑丘会を担当する副支部長を増員し、働きかけを強めます。

札幌支部会合への1000人出席を目指し、本年もいろいろな提案を受け入れて改革を実施いたします。ぜひとも組織活性化へのご協力をお願い申し上げます。



目指すのは
未来をひらく
システム開発

株式会社 **シーズ・ラボ**

カーナビ用ソフトウェア開発急増中
エンジニア募集中

代表取締役社長 山 田 二 郎 (昭和45年卒)
札幌市中央区北2条西1丁目1番地 マルイト札幌ビル7F
TEL 011-233-3820
<http://www.cslab.co.jp>

2013年を迎えて

小樽商科大学長
山 本 眞樹夫
(昭和47年卒)



新年おめでとうございます。今年は巳年。本学の学章(ヘルメスの翼に一星)のモチーフとなっている商業神ヘルメスが持つ杖には、2匹の蛇がからみついています。一星と共に、これらの蛇が本学を一層の飛躍へと導いてくれればと願っています。

昨年は、2月の多喜二国際シンポジウム及び3月のスキー伝来百周年シンポジウムをもって本学創立百周年の全ての行事を無事終えることができました。ひとえに緑丘会諸兄姉の母校への熱い思いとご支援のおかげです。この場を借りて、改めて御礼を申し上げます。

一方、昨年5月7日に本学グラウンドで、アメリカンフットボール部の飲酒事故が発生しました。この事故は、本学構内で発生し、未成年者7名を含む9名の学生が救急搬送され、うち1年生部員1名が亡くなるという最悪の事態となり、広く社会の耳目を集めることとなりました。本学百年の伝統と名声に傷をつけたことに、深くお詫びを申し上げます。二度とこのような不幸な事故を繰り返すことのないよう、全力を尽くしたいと思います。

さて、大学改革が叫ばれて久しくなりますが、ようやくその方向性が見えてきたように思います。昨年6月、文部科学省より「大学改革実行プラン」が提示されました。メディアでは、国立大学のアンブレラ方式による統廃合等の表面的なところだけが取り上げられていますが、私自身は、高等教育の質保証(主体的な学び、学習時間の確保)とグローバル人材の育成(語学力、特に使いこなせる英語力の育成)がその基本的方向だろうと考えています。そして、この方向性は、まさに本学創立以来の「実学、語学及び品格」の育成という教育方針と一致しています。今後、この教育方針に基づく本学の教學を、本学の強みとしてさらに強め、発展させ、そして発信し、名門大学としての地位を確固たるものにしたいと思います。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願ひ致します。

ダンロップ史上、氷上性能をMAXXに極めた。

WINTER MAXX

ウインターマックス

新登場!

Charge the way. Change the idea. Change the world.
DANLOP maximizes the MAXX of the performance on ice.



小樽運河クリーンプロジェクト

湯 谷 拓 朗
(平成21年卒)

私は学生時代YOSAKOIソーランサークル‘翔楽舞’に所属しており、街の温かいご支援により貴重な青春を得ることができ、その恩返しや地域貢献を卒業後も継続して行っていこうと、2011年6月から小樽運河の清掃活動を始めました。

その一部を埋め立てられて以降、現在の小樽運河の南端に位置する妙見川(於古発川)との合流地点は、ゴミの堆積場となっています。ゴミは妙見川から流入しており、運河の景観を損ねる原因となっているのです。世界に誇るべき日本・北海道の観光資源が汚れている、そんな根本的な課題に立ち向かい、地域産業に活力を与え、経済が潤うような貢献をしようと考えました。

実行するためには高いハードルがあり、自宅が江別、職場が札幌のため、一日の行程の中で小樽に立寄ることは時間的・物理的に不可能に思えました。しかし「やる」と決めたその瞬間から、移動手段としての車、1ヶ月間住み込み用に朝里の旅館、掃除道具一式、活動報告のためのFacebook活用など、想いに賛同して下さる方が次々と必要な環境をご提供下さり、「できるかどうか」で悩むハードルが解消され、一気に活動を進めることができました。

最初は毎朝、30日間の挑戦としてスタートしました。朝4時に起床、作業着に身を包み、日の出を拝みながら小樽運河へよじ降り30分間、土嚢袋にゴミを拾い集め、指定のゴミ置き場に捨て、作業完了後は旅館に戻り、

Facebookで報告シスツに着替え6時半に出発。8時に出社し、夜中0時を回る頃まで働き、1時に帰宅、2時に就寝、そして4時に起床、そんな一日のサイクルでした。また、この間の営業成績が普段の3倍に伸びたという不思議な成果も得ました。

無事一ヶ月間の挑戦が終った頃、私は「ゴミは常に流れ着きこのままではなくならない」と気づきました。ゴミ問題を根本から解決するため、この活動を毎週継続させ、市民を巻き込み大きなうねりに変え街全体を動かそうと考え、現在に至るまで毎週土曜日の朝5時半から社会人、学生を中心に20名弱での定期清掃を実施し、また11年11月には参加者100名による清掃大会、12年9月には「小樽運河クリーンプロジェクト千人祭り」と題して、200名での清掃ボランティアイベントを開催しました。

今後も私は「よそ者・ばか者・わか者」として、志高くまた愉快にこの活動を継続し、地域活性化、日本創造に取り組んで参ります。



日本の保険は、ジャパンが変える。



株式会社 損害保険ジャパン 札幌自動車営業部 第二課

〒060-8552 北海道札幌市中央区北1条西6-2 TEL.011(281)8248 ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>

新春記念講演

「情報発信力の磨き方」 ～アイデンティティと主体性の重要性

講師 小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻

准教授 保田 隆明氏



母校において経済・経営の最先端を行く「コーポレートファイナンス」の専門研究、また学部、大学院では「財務管理論」、「ビジネスプランニング」を担当科目として指導に当たっています。

さらにメディアを通して株式市場、ベンチャービジネス、ビジネストレンドの解説、高論を展開、2012年4月よりテレビ北海道(TVH)、毎週日曜午前11時30分～12時00分、「けいざいナビ北海道」のメインキャスターとして活躍中でその高い発信力は視聴者にお馴染みです。

お若く精力的な活動と功績は、母校はもとより、同窓緑丘会員においても喜ばしく誇りであり、先生のご活躍は「緑丘」を目覚めさせてくれます。

<プロフィール>

1998年 早稲田大学商学部卒業
リーマン・ブラザーズ証券会社東京支店
2002年 UBS証券株式会社東京支店
2004年 Life On 株式会社代表取締役
2005年 ネットエイジキャピタルパートナーズ株式会社
(現ngi group) 執行役員
2006年 株式会社オフィスワクワク代表取締役
2009年 金融庁金融研究センター専門研究員
2010年 早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了
小樽商科大学に着任

あなたのレミ
マジックショー



おもしろマジシャン やまちゃん

すすきのを拠点に活躍中の若手マジシャン・やまちゃん。高い技術、そして持ち前の明るさと飾らない雰囲気で皆さまの心を和ませ、笑顔に変えてくれること間違いなしです。

会券は以下のとおりです。当日の受付でも別途用意致します。

キリトリ線

平成25年(2013年)緑丘会札幌支部

臨時総会・新年交礼会

- とき 平成25年2月11日(月・祝)
臨時総会 午後1時50分～／新年交礼会 午後2時～
- ところ ニューオータニイン札幌2F 鶴の間
(中央区北2条西1丁目 ☎222-1111)
- 会費 6,000円 (平成11年卒以前の会員)
3,000円 (平成12年卒以降の会員)



お名前

ご卒年

(昭・平)

年卒

以下、初めてご参加の方、変更のある方はご記入ください。

ご住所

電話・アドレス

(自宅・勤務先)

所属ゼミ・部・サークル

実学を求めて

小樽商科大学商学部企業法学科4年
近藤ゼミ 株式会社i-vacs代表取締役社長
早 田 翼

小樽商科大学の学生なら一度は聞いた事がある「実学」という言葉。この「実学」を求める学生達の手で起業されたものが『株式会社i-vacs』である。

社会人として社会に出る前の最後の期間、4年間という大学生活は限りある短い時間である。その大学生時代にどのような経験を積み、学びを深められるかによって、私達の今後の社会人生活は大きく変わるものだと思う。私達の通う小樽商科大学は、山の上の小さな大学ではあるが、この場所には成長のチャンスが山ほど溢れているように感じる。『株式会社i-vacs』もそのチャンスの一つであり、社員である私達学生は一人一人この会社での活動を通して大きく成長している。

私達が継続的に取り組んでいる活動の一つが、札幌狸小路商店街を舞台にしたはしご酒イベント『NOMIPON～狸ではしご酒～』である。このイベントの趣旨は、「隠れた魅力の再発見」であり、商店街の魅力をより上手に発信することで、そこに賑わいを取り戻そうというものである。

ここに私達の学んでいるマーケティングの要素が活かされる。この商店街の強みは何か?それをどのような手段で伝えるべきか?伝えるべき相手(顧客)は誰か?これらのこととを私達は考える。狸小路商店街には、普段気には留めないだけで、実は魅力的な飲食店が多数存在する。それらの店舗への来客を促すために「チケット綴りを使ったはしご酒イベント」という形を私達は採った。チケット綴り(3～5枚の綴り販売。チケット一枚当たり約600円程度なので、参加客は600円程度の投資をする感覚で新規店舗の開拓ができる)という仕掛けが、普段行かないお店への来店をより気軽なものとし、そこで店舗の魅力に気づき、



リピーターとなる。ひいては商店街全体も好きになってくれることが私達の狙いである。このように普段の学びから得たことを実社会に還元する、まさに「実学を実践していること」がi-vacsの最も魅力的な点だと感じている。

このような私達の活動を在学生はもちろんのこと、OB・OGである皆様にも是非見て、知っていただきたい。そして、自分達の学生生活をより有意義なものにするために貪欲に取り組む私達に、少しでも成長の機会を与えていただけるのであれば、是非声をかけていただきたい。

社員の学生達の顔はいつも充実感で満ち溢れている。先日待望の六期生も入り、さらに勢いに乗る株式会社i-vacsをより良い組織としていくことが卒業に向けての私の想いでもある。私自身がここまで有意義な学生生活を送ることができたのも、この環境を整えてくれた近藤教授や諸先輩方のおかげである。この学生生活での貴重な経験をこれから社会に出る私は最大限に活かしていきたい。『小樽商科大学発学生ベンチャー株式会社i-vacs』の名が、日本中に知れ渡ることを願ってやまない。



ファーストクラスのおもてなしで
皆様をお迎えいたします。

It relaxes travelers.

New Otani Inn
ニューオータニイン札幌
〒000-0002 札幌市中央区北2条西丁1丁目1
TEL. 011(222)1111
<http://newotanisapporo.com>

ゴルフ雑談

中 村 典 雄
(昭和32年卒)



エージシュート、自分の年齢以下のスコアでラウンドする事を云う。年長者でなければ達成は難しく、プロでも公式競技ではシニアで数回聞くだけである。同窓では31年卒の中里豊さんが由仁カントリーの敬老杯で5,6年前に達成された。73ストローク。氏は知る人ぞ知る名手で以後何回か達成されたと聞いているが、そんな難しい記録をよもや私が達成できるとは。

昨年の6月22日かつての銀行員仲間との芙蓉カントリーでのコンペでアウト39イン38計77エージシュートを達成した。今、想い出しても夢のようだが当日はウエッジが冴えて60ヤード前後のアプローチが殆ど2メートル以内に寄り、1ラウンドのパット数はなんと27、私の生涯ベストである。そうだ同伴プレイヤーにも感謝しなくてはなるまい。杉江直哉、片山慎昭の両君、15番ホールまで3オーバーの私、内心緊張気味を察し、本当にさりげなくプレイして頂いたのは大変有難かった。尚、当日の18ホールの内訳は、3バーディ6ボギー1ダボ(OB)8パーであった。

私にはエージシュートの他に忘れられないプレイが2つある。1つは英国の名門セントアンドリュース、オールドコース。中里先輩、今は亡き同期UHB木梨社長等と共にコースのプロキャディを従えてのプレイ。当日は微風、五月晴れ、キャディに「私はハンディ7だが実力は12ぐらいだ」と告げてスタート。貸しクラブがピッタリ合ってショット、パット共に冴え、アウト39で終えるとキャディ曰く「あなたの実力は5ぐらいだ」と。つい20ポンドチップをはずんでしまった。

インは42であったが今でもこのカードだけは残してある。

もう1つはリンクスカントリーでの北海道土地(株)栗本社長夫妻と私共夫婦とのプレイ。私はアウト34、イン34なんと68で廻った。後にも先にも60台の記録はこれ1度きり。5バーディ、1ボギー、長めのパットも良く入りOKはなかった。

ゴルフの自慢話を全て披露し、人格の浅い底を見せたようで誠に氣恥ずかしいが来年傘寿を迎える老人の事ゆえお許しを頂きたい。それにしてもこれまで一緒にプレイしてくれた数多くの友人の有難きかな。心から感謝を捧げます。

緑丘会MBA会の“今”と“これから”

緑丘会MBA会
会長 山本真史
(平成21年OBS修了)



小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻課程(以下、OBS)を平成21年3月に修了した、OBS4期生の山本真史と申します。今年6月の緑丘会MBA会(以下、MBA会)総会にて会長の拝命を受け、MBA会4代目会長を務めさせて戴いております。甚だ未熟ではございますが、ご指導ご鞭撻頂きますよう、お願ひ申し上げます。

OBSでは今春、7期生が修了致しました。設置から9年を経て、200名以上が修了(MBAホルダー)し、修了生は道内外・国内外を問わず、その多くが実業界で活躍しています。これはOBS設置にご尽力頂き、また札幌サテライトという素晴らしい学習環境をご提供頂いております緑丘会のおかげであり、修了生を代表して感謝申し上げます。

さてMBA会は、OBS修了生による同窓会ですが、立場的には緑丘会札幌支部に所属しています。MBA会ではその目的を「修了生同士の親睦」「OB/OGネットワークの拡大」「知得の向上」「小樽商科大学の発展の助成」など多岐に渡り設定しており、これらの実現を通じて道内・国内産業の発展に寄与したいと考えています。一方で役員・会員を含む修了生は実業界の第一線で活躍している年代が多く、「MBA会総会」「母校への寄贈事業」「MBA交流会」など幾つかの事業のみを実施しているのが実態であり、必ずしも当初の理念を実現するに至っておりません。ここも偽らざる“今”的姿であります。

そのような中でも、明けて3月には8期生が修了し、4月には10期生を迎へ、OBSネットワークは年々拡大しています。そしてOBSというコミュニティで初めて顔を会わせた修了生同士が新たにつながり、時にそれはビジネスまで発展しています。このことから、“これから”的MBA会は、OBS生同士(修了生・現役生)をつなぐ架け橋的な「プラットフォーム」の役割を、より強めていく必要性を感じています。来年度はOBS10周年という節目の年でもあり、MBA会組織も次のステージへの脱皮を図っていかなければなりません。

私自身は学部も小樽商科大学(平成15年卒)であり、これまで緑丘会の諸先輩方には多大なるご指導を頂いて参りました。今後も皆様からのご助言を賜りながら、小樽商科大学及び緑丘会の発展を共有していく会を目指して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

(北海道求職者就職支援センター センター長)

緑丘ゴルフ会だより

世にゴルフコンペ数多あれど、「茨戸～島松～小樽～由仁」と名門コースをめぐるコンペは珍しいのではないでしょうか。このコースを巡る今年度の緑丘ゴルフコンペは無事終了いたしました。ゴルフはとくに成績が気になるものですが、達人いわく「スコアが良いと気持ちが良い、沢山叩けば健康に良い」、いずれも楽しいとのこと。この言

ゴルフ委員長 岩佐正之
(昭和49年卒)

葉のとおり今年も楽しく愉快に爽快に、四季折々の風景を堪能しながら会員相互の親睦を深めることができました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。参加者年齢は当然毎年上昇しておりますが、MBA卒業者を中心に若い方々の参加を得て、より盛り上がりをみせた今年の大会でした。

来年もより多くの方々の参加をお待ちしております。

●平成24年 成績表

開催	開催日	会場	参加人員	優勝者	準優勝者	
第1回	5月5日(土)	茨戸カントリー倶楽部	23	甕英俊	昭和45年卒	赤井 摂
第2回	7月21日(土)	札幌国際島松コース	17	中山 肇	昭和45年卒	中里 豊
第3回	8月10日(金)	小樽カントリークラブ(新)	35	浜田 輝明	昭和45年卒	大西 泰範
第4回	9月23日(日)	札幌ゴルフ倶楽部(由仁)	20	加納 孝之	平成23年卒(MBA)	横田 有司

「忙中閑」の囲碁

囲碁の効用として思考力・忍耐力・集中力・コミュニケーション力の養い、また認知予防・リハビリ対応・親交増幅の効果が認められています。

ヒマ(閑)だから碁でも打とうか!

こんな対局はつまらなく技量の向上は望めるべくもなく何も残らない。

ただの閑は退屈・怠惰でしかない。

忙中閑ならぬ忙中忙の時代にあって真の閑は忙中にしか存在せず、意識と神経が凝縮、澄まされた閑なのです。年4回の例会では常に右を意識、念頭に楽しんでおります。「緑丘」の磁力に引かれる同窓の皆さま、どなたでもお気軽にお訪ねください。

なお、六中観には「死中活」、「壺中天」など囲碁に連関する蘊蓄の至言があることを添えておきます。

札幌緑丘囲碁クラブ

平成24年度 エバーグリーン講座 日程

講演月日	氏名	卒年	講演テーマ	現職等
10月3日	緑丘会本部 佐藤 憲明		オリエンテーション	
10月10日	宮下 佳廣	昭和41年卒	「自然と人との関わり ～病院緑化から地域再生へ～」	元出光興産取締役 苫小牧東部石油備蓄社長 千葉大学園芸別科大学院修士課程 同 大学院博士課程・農業博士学位 現 千葉大・園芸学科研究科博士研究員
10月17日	葛西 さとみ	平成22年 アントレナーチャップ専攻修了	「会社設立から経営実務まで」 「貴方も今から経営者」	有限会社 Kasai Office 行政書士 葛西さとみ事務所
10月24日	流田 和啓	平成9年卒 (ラグビー部)	「商社人生奮闘記 ～もがき楽しめ」	住友商事株式会社 大阪産業インフラ・輸送機部 機械システム課 課長代理
10月31日	井上 周司	昭和42年卒	「監査役の役割 一企業の健全な成長に資するためー」	元 ユアサ商事常勤監査役 バンコク駐在、ユアサアメリカ代表経験
11月7日	久保 俊治	昭和46年短大卒	著書「驚撃ち」について ～狩猟生活と北海道の自然～	牧場経営 ノンフィクション作家（「驚撃ち」ほか）
11月14日	野村 文吾	昭和63年卒	お客様密着!地域に貢献する十勝バスの経営 ～40年ぶりの利用者数増加の実例～	十勝バス(株) 代表取締役社長
11月21日	石岡 久和	昭和54年卒	銀行IT戦略の現在・過去・未来	太陽神戸銀行入行 株式会社さくらケーシーエス 常務執行役員
11月28日	小笠原 一雄	昭和50年卒	「シルバーな人びと」 (温泉旅館・ホテル型デイサービスとヘルパー付個人旅行)	株式会社旅日記 代表取締役 有限会社ハーディズ 代表取締役 (緑丘会 宮城支部副支部長)
12月5日	鹿内 正孝	昭和54年卒	「人生は出会い」	(株)玄米酵素 代表取締役社長
12月12日	秋吉 英彦	昭和49年卒	石油開発会社の勤務経験 ～小樽からアラビアへ	アラビア石油(株) 常勤監査役
12月19日	田畠 知之	平成元年卒	「報道の現場から ～ファクトから先を見る～」	毎日新聞大阪本社 経済部副部長待遇
1月16日	中野 健	昭和57年卒	「地域経済と中小企業 ～仕事を通じて国益への貢献を考える～」	北海道経済産業局 産業部産業振興課長
1月23日	劉 莎	平成22年学部卒 平成24年博士前期修了	「留学は何が得られる」	小樽商科大学大学院博士後期課程
1月30日	滝 浩之	昭和53年卒	「インターネットサービスプロバイダー(ISP)の戦略 ～ニフティ、ヤフーなどの動向について」	富士通エフ・オー・エム取締役 マーケティング本部長兼地域営業本部長 名古屋大学大学院人間情報学研究科博士 後期課程満期退学

緑丘サテライトセミナー報告

緑丘サテライトセミナー委員長 成 松 郁 子
(昭和55年卒)

昨年、サテライトセミナー委員会改め、緑丘サテライトセミナー委員会に名称変更いたしました。緑丘会OBの勉強会、気軽な交流の場として、これまで21回のセミナーを開催してまいりましたが、今後ともご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

新体制として初めての第21回緑丘サテライトセミナーは、盛況のうち無事終了いたしました。

第21回緑丘サテライトセミナー

著書「罠撃ち」について～狩猟生活と北海道の自然～
講師：久保 俊治氏(昭和46年短大卒)

牧場経営、ノンフィクション作家

日時：平成24年11月10日 午前10時～11時30分

講師プロフィール

1947年、小樽市生まれ。20代より、日本で唯一の罠(ひぐま)ハンターとなる。75年に渡米、現地のハンティングガイド学校で学ぶ。76年に帰国後、道東の標津町で牧場を経営しながら獵を続ける。80年代に北海道放送で放映された「大草原の少女みゆきちゃん」は久保氏一家のドキュメンタリー番組。

小樽で生まれ育った久保氏。日曜ハンターだった父親の教育、影響を強く受け、プロのハンターに。卒業生の中では、異色の経験、経験をお持ちの久保氏から、大自然と共に生きる厳しさ、獵に対する思い、命について、本当に貴重なお話を伺うことができました。

作家の椎名誠氏も、「その研ぎすまされた感性に羨望する」と絶賛する、久保氏の著書「罠撃ち」は、ご自身の実体験を書かれたものです。2009年4月の発刊以来、常に話題になり新聞、雑誌の書評に登場しています。

今回は、罠の獵の写真等をmajieて対談形式で進行しましたが、参加者の中には感極まって涙ぐむ方も出るほど、大自然の中で厳しく尊い体験をされてきた久保氏の、素朴で思慮深くあたたかなお人柄が感じられる講演でした。ここ数年の住宅街での熊出没についても、わかりやすくお話ししていただきました。参加者は35名でした。



緑丘会女子部会発足のお知らせ

福 井 芙美子
(昭和54年卒)

昨年の総会での承認を経て、この度札幌支部に女子部会が誕生しました。

最初の活動として、交流会を10月19日(金)夜に行いました。会場は、イタリアンと居酒屋料理のお店「福久樓」(北3西7・道庁別館1階)。ここは、平成8年卒の古賀ゆか子さんが経営するお店です。女子部会立上げにふさわしい場所と思い、こちらに決めました。

今回の参加メンバーは、過去10年間に当番幹事を経験された方々10名(昭和54～昭和62卒)そして平成卒の方が2名の計12名です。年齢差もあり、また初対面の方が多かったにも関わらず、すぐに打解けて、美味しい料理を楽しみつつ大いに盛り上がり、とても楽しい交流会となりました。

これからの活動ですが、相互に情報を寄りながらテーマを決め、「この指とまれ」方式でメールやホームページ等を使って皆様へ呼びかけして、活動を続けていきたいと思います。

ゴルフ会や囲碁クラブと同様、基本的にメンバーは固定せずに、自由参加と致します。

女性の多様なライフスタイルを考えながら、あまり肩ひじ張らず、楽しく参加できる企画を末永く行っていきたいと思っております。

学び、遊び、何でもあります。

女性OBの皆様、楽しいアイディア、企画のご提案をたくさんお寄せください。お待ち致しております。

尚、次は平成25年3月24日試験日の「小樽案内人検定」に向けての勉強会を計画中です。

興味のある方は支部事務局(最終頁参照)までご連絡ください。どうぞ宜しくお願い致します。



お知らせ

- 新年交札会の開会に先立ち、臨時総会を実施致します。支部会則の一部改訂議案(第8条1)のみで約10分の予定です。
ご協力をお願い申し上げます。
- 2012年11月、沼田久名誉教授が教育研究功労の栄誉として瑞宝中綬章を受章されました。
同窓生一同、心より祝意を申し上げます。

感動30周年記念同期会

千 坂 直 人
(昭和57年卒)



平成24年9月15日(土)小樽海陽亭において、私たち昭和57年卒業生(53年入学)は、卒業30周年記念同期会を開催いたしました。

私たち同期生は同年1月頃から札幌市在住の同期を中心に幹事チームを作り、準備に取り掛かりました。チームの中にはお互い学生時代にほとんど話をしなかったような人もいました。しかし幹事代表の福井郁子さんの強力なリーダーシップのもとで順調に準備を進めることができました。また緑丘会札幌支部の方々からも温かいご支援を戴きました。その結果同期約380名のうち70余名の参加となる大盛況の同期会となったのです。

その宴会当日、平塚彰氏と狩野多佳子さんが司会の大役を担いました。まず同期で故人となられた方々に黙祷。続いてご来賓の山本眞樹夫学長がご祝辞を述べられ、母校の近況等についてのお話をされました。乾杯の発声は沖縄から駆け付けてくれた野原郁子さん。ユーモアを

交えながら行ってくれ、会を盛り上げました。そして同期の瀬戸篤商大教授が大学院での講義や自身の著書について話してくれ、みんなが感心する中、ゼミ毎に壇上に上がり思い出や近況を話し始めた頃には盛り上がりは最高潮に達しました。

丁度その頃、現役の応援団員3名が駆けつけてくれ、私たちのために力強いエールを送ってくれました。それを受け同期の元応援団長山本恵裕氏がエールを送り返し、全員で校歌並びに若人逍遙の歌の齊唱。全員感激しました。締めの乾杯ははるばる中国江蘇省から飛んできた原淳氏。感動が続く中での閉会となりました。

二次会はスナック「マルジェ尚」。45名も参加し、学生時代の思い出話などで、遅くまで歓談に沸きました。

今回の同期会で改めて商大の同窓意識、母校愛に深く感銘を受けました。「5年後、10年後にまたやろう。」その様な声がそこかしこで聞かれました。同期会のみんなのあの笑顔、あの声は一生忘れることはないでしょう。

この様な感動的な同期会を行うことができ、山本学長、緑丘会札幌支部の皆様、参加された同期の方々、そして参加は出来ませんでしたが同期会に温かい言葉を送って下さった方々に厚く御礼申し上げます。

同期会の余剰金と参加者の母校への寸志を合わせまして、僅少ですが母校に寄付をさせていただきます。

昭和37年卒 50周年記念同期会盛大に開催! 蝦 名 哲 昭

(昭和36年卒)



昭和37年卒同期会は50周年を祝し、山本眞樹夫学長および名誉教授久野光朗先生をお迎えし、全国各地の会員総勢43名(卒業生179、うち物故・不明者46)の参加を得て9月10日(月)午後6時より、小樽朝里クラッセホテルにて盛大に開催されました。

今回は50年という大きな節目を迎え、本州地区の東京

皆友会(みなともかい)と札幌37会が合同で企画しました。特別企画の経済講演会は東京皆友会の発起人が担当、札幌37会は懇親会、ゴルフ会、小樽市内観光の実施運営に当たりました。

経済講演会は発起人をはじめ同期会参加者が50周年記念の寄贈講座とすることとし、講師の都合もあり4月26、27の両日、母校と札幌商工会議所においてそれぞれ開催されました。講師は著名な東京大学公共政策大学院院長伊藤隆敏教授。演題は「世界の中の日本経済」で、2日間とも多数の学生、一般市民に深い感銘を与えるました。さて9月10日14:00過ぎ、母校集合組は山本学長による大学現況のご説明、その後100周年記念展示室・輝光寮見学を経て、16:30ホテルに全員集合。懇親会には道内会

員はもとより遠く広島、関西など全国から馳せ参じていただき、幹事として大いにやりがいを感じました。

18:00からいよいよ懇親会開始。総合司会の石浦淳三君による開会宣言、黙祷、林辰郎君の幹事代表挨拶に続き、ご来賓の山本学長と恩師久野先生から近況を交えたご挨拶をいただきました。

両先生にはご多用中のところご出席いただきあらためて感謝申し上げます。

つづいて小林明生君の乾杯の音頭で開宴。母校100周年記念DVDを見たあと、経済講演会の報告が発起人のひとり加藤泰君からあり、一段落したところでテーブルスピーチに移った。まず宮川力夫君の版画にまつわる苦心談、畠中勝次君の人生の最終章を如何に生きるべきかの「生き方」、鈴木裕史君による「音楽のもつ力」、奥泉裕史君は「お釈迦様の弟子になった私」、そして高木晃一君の「ジョークあれこれ(主として海外編)」等それぞれ卒業後歩んできた50年を振り返り、いずれもすば

らしいスピーチであった。

「老後の初心忘るべからず」とは世阿弥のことばですが、お互い残された人生を体力維持に努め、気概をもって生きていきたいものと、一同あらためて感じ入った次第です。

終わりに校歌斎唱、秋山賢一君の閉会挨拶、池村哲夫君による一本締めで一次会を締めくくり、ホテルのナイトクラブへとなだれ込み、カラオケで酔いを醒ます者、あちらこちらで夢中になって話し込む者など深夜まで続いた二次会でした。

翌日は朝食後、ゴルフ組(札幌エルムCC)、小樽市内観光組、道内旅行に出発する者などに分かれ、それぞれ「じゃ元気でけ」との言葉を掛け合いながら名残を惜しみつつ再会を約し散会しました。

末筆ながら、準備にご協力いただいた大学当局ならびに緑丘会札幌支部のみなさまにたいしこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

(注:経済講演会詳報は「緑丘」第112号をご参照ください。)

緑丘38☆42会 45周年記念同期会

川上 隆士
(昭和42年卒)



「緑丘38☆42会」の名前のもと昭和42年卒業の往年の好青年36名プラス夫人3名が、遠くは香川、島根から馳せ参じ、45年後の平成24年9月26日に懐かしの小樽の地に集い「卒業45周年記念同期会」を開き旧交を温めた。

伝統と格式を誇る小樽海陽亭の大広間「明石の間」に午後5時半には全員が集合、華麗かつ重厚感あふれる舞台を背に記念写真を撮った後、くじ引きにより6卓に分かれて陣取り、飲み放題の美酒と食べきれないほどの美味しい料理に舌鼓を打ちながら恩師・仲間の消息、自分の近況等の話題に時間の経つのを忘れ語り合った。

そのうちあちこちにゼミ仲間、寮生仲間、クラブ仲間等の輪も出来、昔話に花を咲かせる中、瞬く間に予定の2時間半が過ぎた。

名残り尽きない中、お互い肩を組み、声高らかに「校歌」、「若人逍遙の歌」を歌い、今回の記念同期会も終わりに

近づき、最後は5年後の卒業50周年記念同期会での元気な再会を誓い、応援団OBによる力強いエールにより記念の宴を終了した。

その後有志20数名は場所を変え、かつては地獄坂にあった伍楽園の遺構の一部が移築されている蕎麦処「藪半」での2次会にくりだした。建物の由来についての店主の説明を聞き、昔の伍楽園の雰囲気・風情を醸し出す日本間で、当時下宿生として暮らした話や放課後麻雀に入り浸った話等、懐かしい思い出も蘇った2次会だった。

翌日は夫人3名を含めた19人が貸切バスを仕立て、先ず母校を表敬訪問、山本眞樹夫学長のミニ講義「今的小樽商大について」を受講し最近の母校の姿、問題点などに触れることができた。

約1時間滞在した母校に別れを告げ、初秋の暖かい日差しの中を、旭展望台の小林多喜二文学碑、ニセコの有島武郎美術館、岩内の木田金次郎美術館、そして塩谷の伊藤整文学碑等をめぐり、普段は縁遠い(?) 文学・美術の世界にどっぷりつかり、ワンデイミニトリップを楽しんだ。

このようにしてアッと言う間に過ぎた2日間ではあったが、5年後の50周年記念同期会での「より沢山の仲間との再会」を合言葉に、お互いの健康を祈念して、今回の記念同期会の全日程を無事終了した。

平成24年度支部会費 納入状況

平成24年11月30日現在

卒年	会員数	納入数	納入率(%)	卒年	会員数	納入数	納入率(%)
昭和8	1	1	100.0	昭和53	43	10	23.3
昭和9	1	0	0.0	昭和54	66	13	19.7
昭和13	4	1	25.0	昭和55	40	13	32.5
昭和14	4	2	50.0	昭和56	32	6	18.8
昭和15	3	1	33.3	昭和57	37	9	24.3
昭和16	10	5	50.0	昭和58	25	4	16.0
昭和17	10	6	60.0	昭和59	45	5	11.1
昭和18	14	5	35.7	昭和60	35	8	22.9
昭和19	16	4	25.0	昭和61	35	5	14.3
昭和20	14	8	57.1	昭和62	32	8	25.0
昭和22	7	3	42.9	昭和63	25	3	12.0
昭和23	31	13	41.9	平成1	20	1	5.0
昭和24	19	4	21.1	平成2	21	0	0.0
昭和25	29	16	55.2	平成3	19	4	21.1
昭和26	14	7	50.0	平成4	27	0	0.0
昭和28	30	18	60.0	平成5	29	2	6.9
昭和29	34	13	38.2	平成6	32	1	3.1
昭和30	39	20	51.3	平成7	31	1	3.2
昭和31	44	24	54.5	平成8	25	3	12.0
昭和32	47	33	70.2	平成9	19	0	0.0
昭和33	35	21	60.0	平成10	18	1	5.6
昭和34	42	26	61.9	平成11	10	0	0.0
昭和35	26	12	46.2	平成12	19	2	10.5
昭和36	32	12	37.5	平成13	67	2	3.0
昭和37	25	10	40.0	平成14	77	4	5.2
昭和38	36	15	41.7	平成15	138	2	1.4
昭和39	28	11	39.3	平成16	64	3	4.7
昭和40	32	15	46.9	平成17	54	0	0.0
昭和41	37	15	40.5	平成18	54	0	0.0
昭和42	31	8	25.8	平成19	28	0	0.0
昭和43	30	13	43.3	平成20	37	1	2.7
昭和44	21	7	33.3	平成21	37	5	13.5
昭和45	45	33	73.3	平成22	41	2	4.9
昭和46	35	5	14.3	平成23	32	0	0.0
昭和47	32	7	21.9	平成24	44	0	0.0
昭和48	32	11	34.4	小 計	2,389	558	23.4
昭和49	38	9	23.7	短 大	242	19	7.9
昭和50	29	6	20.7	大学院	29	6	20.7
昭和51	38	14	36.8	MBA	63	63	100.0
昭和52	36	6	16.7	合 計	2,723	646	23.7

亡くなられた会員の皆様（平成24年5月～24年11月受付まで）

昭和14年	松村 正辰	2012年 1月 6日	ご逝去
昭和18年	島田 恵治	2012年 8月28日	ご逝去
昭和20年	木村 一郎	2012年 8月16日	ご逝去
昭和22年	松家 正	2011年 6月25日	ご逝去
昭和23年	館脇 敏郎	2012年 9月 2日	ご逝去
昭和30年	山田 恒夫	2012年 5月 8日	ご逝去
昭和30年	作田 和幸	2012年 7月26日	ご逝去
昭和31年	山岡 敏一	2011年 3月20日	ご逝去
昭和31年	佐藤 光功	2012年 8月18日	ご逝去
昭和39年	植松 直	2012年 5月 7日	ご逝去
昭和40年	小金澤 盈	2012年 6月25日	ご逝去
昭和41年	川内谷正幸	2012年 3月25日	ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

お願い

新年交礼会にご出席の際は、受付が混み合いますので、できるだけ会券をご持参ください。

会券は本誌5ページに掲載の他、支部ホームページからダウンロードすることもできます。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

編 集 後 記

○昨年11月、大学認可に関わり申請側と文科相の間に齟齬が生じ混乱を招いたが、数日後に文科省(相)の翻意であっさり「認可」となり収束しました。
何かと物議を醸す文科相ではあるが不認可発言の一部に或る納得を得ました。
粗製乱造による大学・学生の質の低下が懸念されている昨今、大学と学生との間の齟齬だけは生じないことを祈りたい。

○メディアで母校の価値高き高感度評価に快哉!!

「就職・給料でお得度が高い」～複雑な思いの表現なるも嬉しい!

「北大・東北大を抜く就職率」～入学偏差値は地方国立大と変わらないが就職偏差値は60を超える北大・東北大を凌駕。
母校の伝統的な「売り」であり、今から中高生、親御さんに広宣流布したいものである。

緑丘会札幌支部

電話／FAX：011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール：ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

緑丘会札幌支部は、会員の皆様の会費によって運営されています。

緑丘会本部会費とは別に、札幌支部会費として年額3,000円を申し受けております。3年分、5年分とまとめてお支払いになりますとお得な割引制度もございます。是非、支部会費の納入にご協力をお願い申し上げます。